

AND

HOLON

A&D ホロンホールディングス

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

A & D ホロンホールディングス

証券コード 7745

< ご注意 >

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

| Contents

1 2023年3月期第3四半期	決算概要	P3
2 2023年3月期第3四半期	セグメント別業績	P9
3 2023年3月期通期業績予想		P14
4 株主還元		P18
5 APPENDIX		P20

当社は当社連結子会社である株式会社ホロンと経営統合をし、2022年4月1日からA & Dホロンホールディングスとして始動しました。つきましては、2022年3月期はA&Dの業績結果、2023年3月期はA & Dホロンホールディングスの業績予想となっております。

| Contents

1	 2023年3月期第3四半期	決算概要	P3
2	2023年3月期第3四半期	セグメント別業績	P9
3	2023年3月期通期業績予想		P14
4	株主還元		P18
5	APPENDIX		P20

前年同期比増収大幅増益で着地、通期業績予想に対しても順調に進捗好調な受注状況を背景に、全事業において前年同期比増収増益を達成

3Q累計
売上高

42,217 百万円

前年同期比
113.1%

通期業績予想進捗率
73.4%

3Q累計
営業利益

4,729 百万円

前年同期比
132.5%

通期業績予想進捗率
77.5%

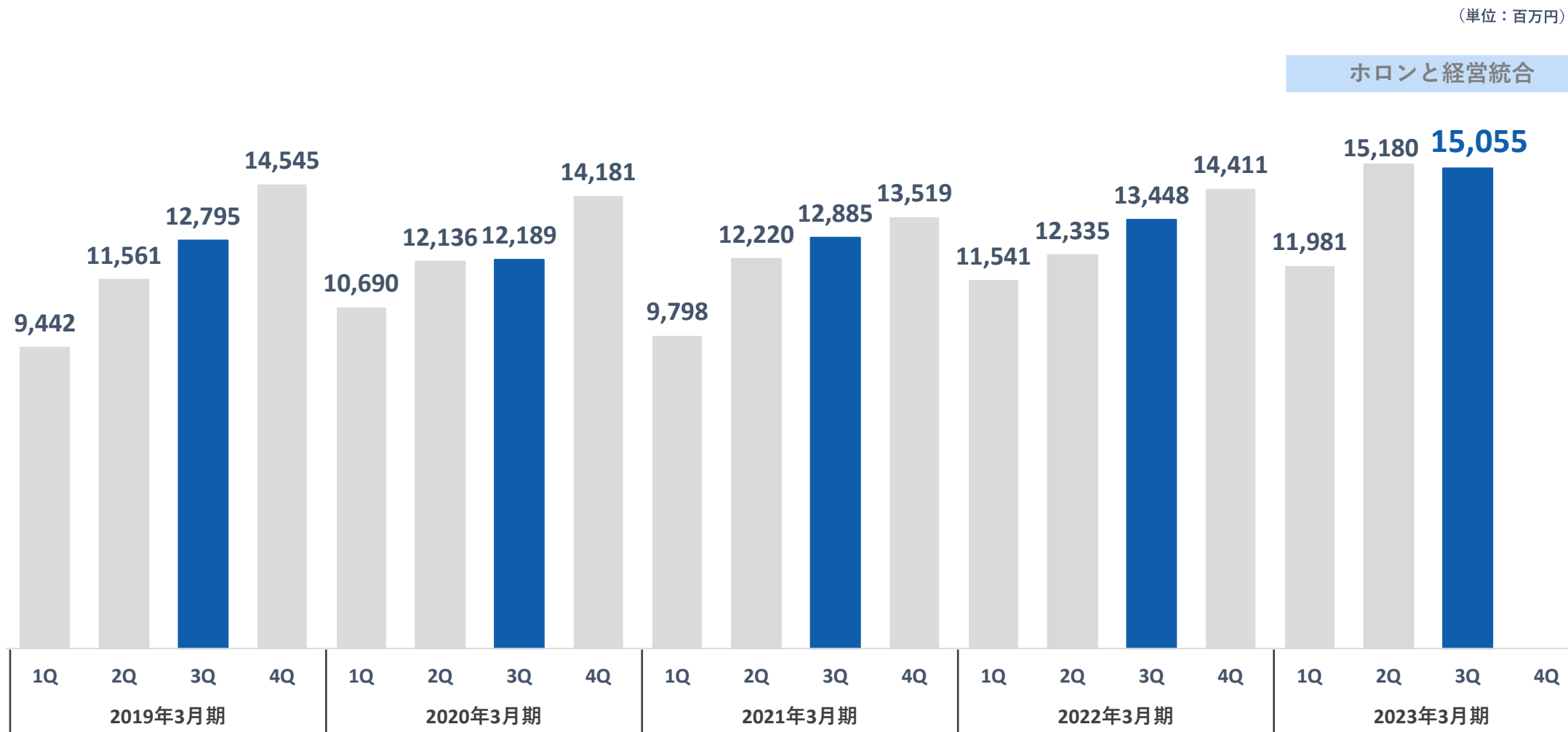
- 利益面では半導体関連、計測・計量機器は前年同期比増益を継続、医療・健康機器においては部材費等の高止まりの影響が残るも経費抑制に努めたことで前年同期比増益に転換
- 棚卸資産の未実現利益消去に係る売上原価増は、出荷・在庫管理の徹底および為替の円高局面への移行により軽減
- 通期業績予想は堅調な受注状況を鑑み、前回上方修正した見通しを据え置く

売上は2桁の増収を継続、原価低減や経費抑制に努めることで利益は大幅に伸長

(単位：百万円)	22/3期		23/3期			
	3Q 累計	1Q 4月～6月	2Q 7月～9月	3Q 10月～12月	3Q 累計	前年同期比
売上高	37,325	11,981	15,180	15,055	42,217	113.1%
売上原価	20,984	7,604	8,360	7,467	23,432	111.7%
販売費及び 一般管理費	12,771	4,596	4,774	4,685	14,056	110.1%
営業利益	3,568	-219	2,046	2,902	4,729	132.5%
経常利益	3,685	-1	2,234	2,640	4,873	132.2%
税引き前利益	3,621	-6	2,234	2,641	4,868	134.5%
親会社株主に帰属する四 半期純利益	2,160	-159	1,625	2,058	3,523	163.1%
1株当たり 四半期純利益 (円)	104.55	-5.83	59.25	74.97	128.43	+23.88円

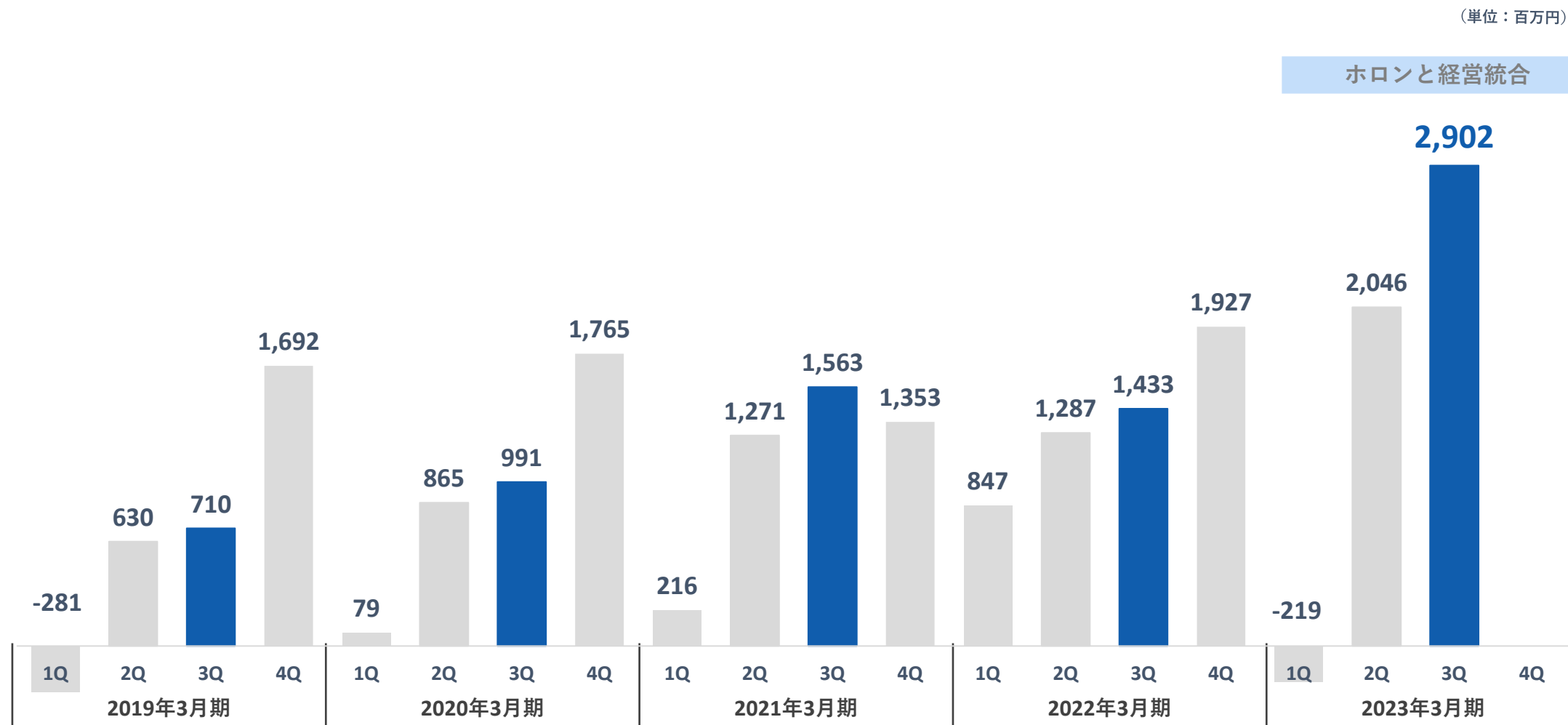
四半期別売上高の推移

第3四半期として過去最高の四半期売上高を更新

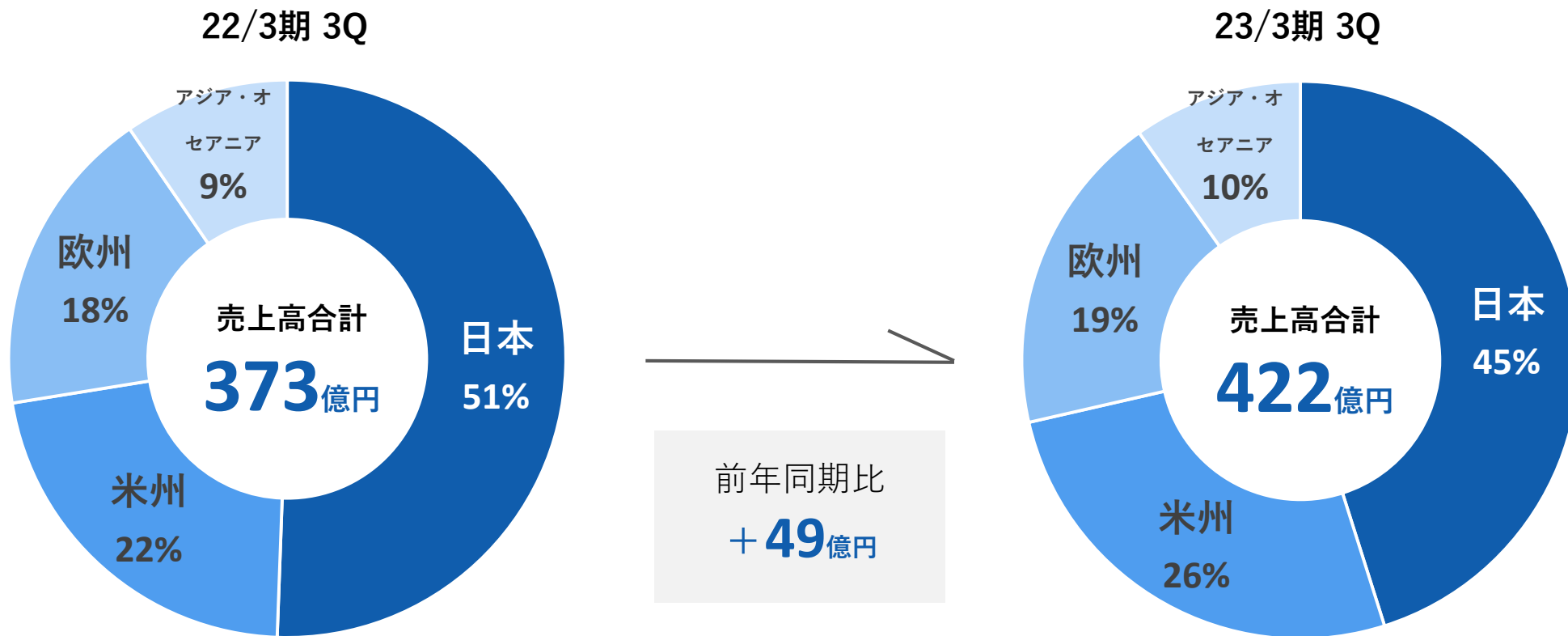


四半期別営業利益の推移

本年度第2四半期に続き過去最高の四半期営業利益を更新



海外の売上高増が全体の業績をけん引



(単位：百万円)

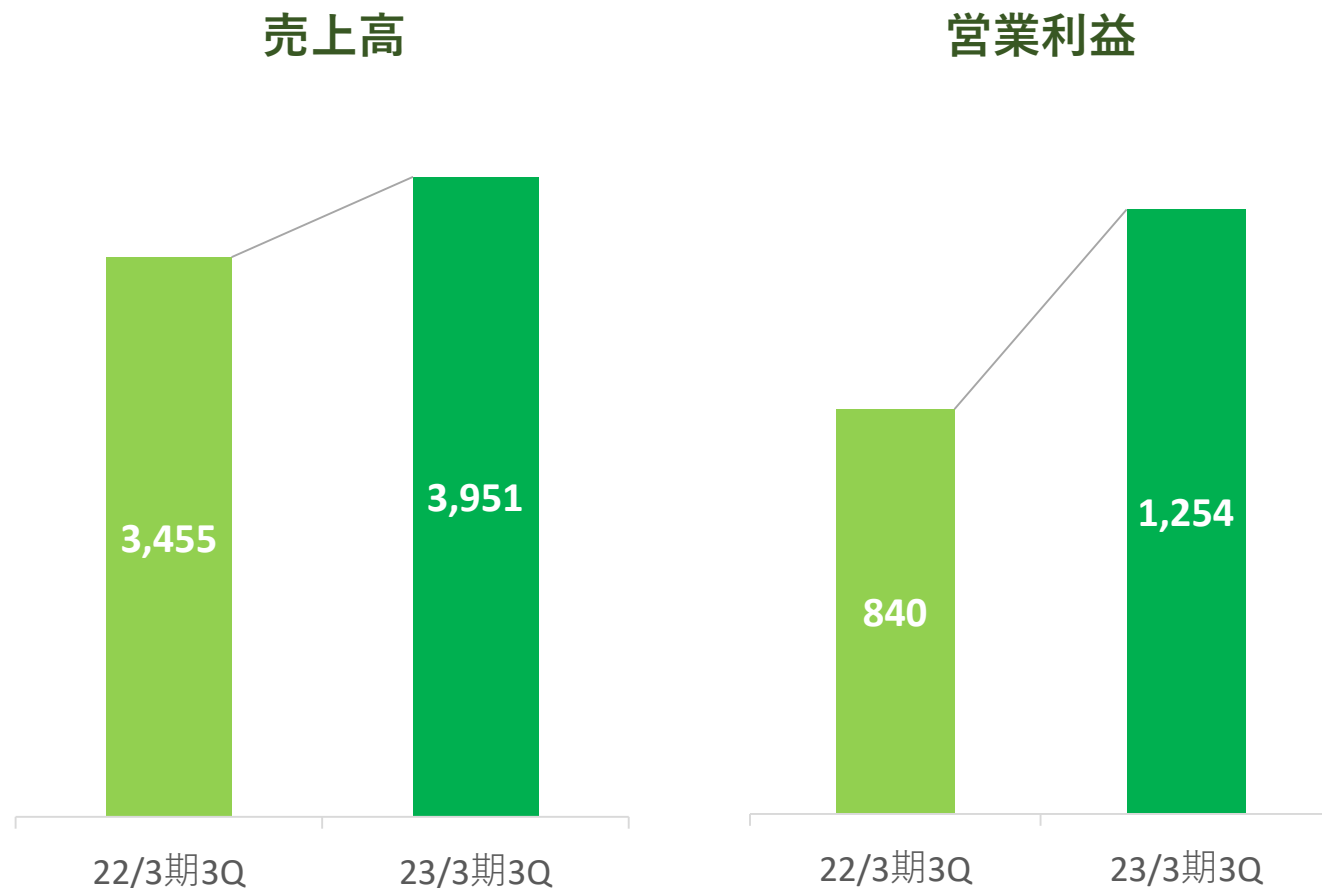
地域	22/3期 3Q	構成比	23/3期 3Q	構成比	前年同期比
日本	18,875	50.6%	19,045	45.1%	100.9%
海外	18,445	49.4%	23,169	54.9%	125.6%

| Contents

1	2023年3月期第3四半期	決算概要	P3
2	2023年3月期第3四半期	セグメント別業績	P9
3	2023年3月期	通期業績予想	P14
4	株主還元		P18
5	APPENDIX		P20

売上高 前年同期比 114.3%、営業利益 前年同期比 149.2% 増収増益

(単位：百万円)



- 出荷、検収が進み増収継続、原価・販管費をコントロールし大幅増益
- 半導体に対する更なる微細化要求は堅調、最先端領域への投資は継続を見込む
- 引続きA&D、ホロン共に引合・受注は活発な状況が継続

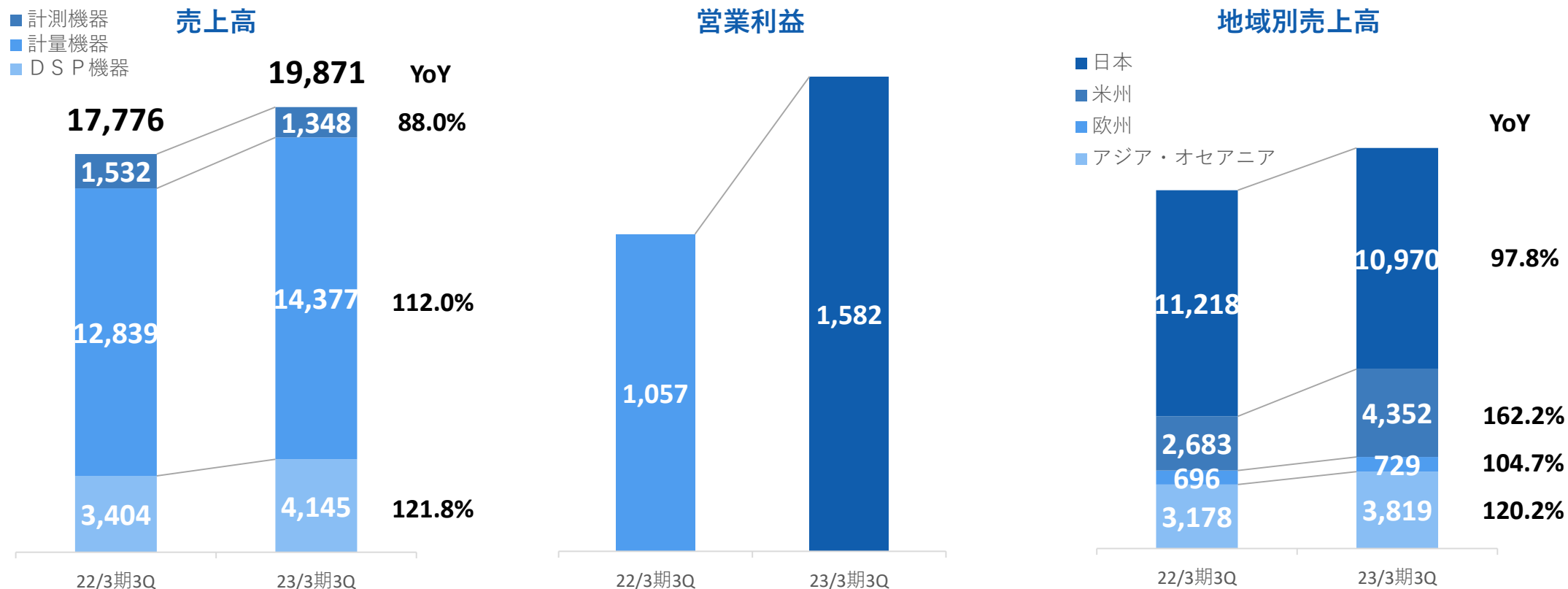
※半導体関連事業は国内のみ

売上高 前年同期比 111.8%、営業利益 前年同期比 149.6% 増収増益

日本： 一部製品で部材不足等が生じるが、セグメント全体業績への影響は軽微 (単位：百万円)

米州： 主力の計量機器が汎用天秤の特需もあり売上、利益ともに引続き好調に推移

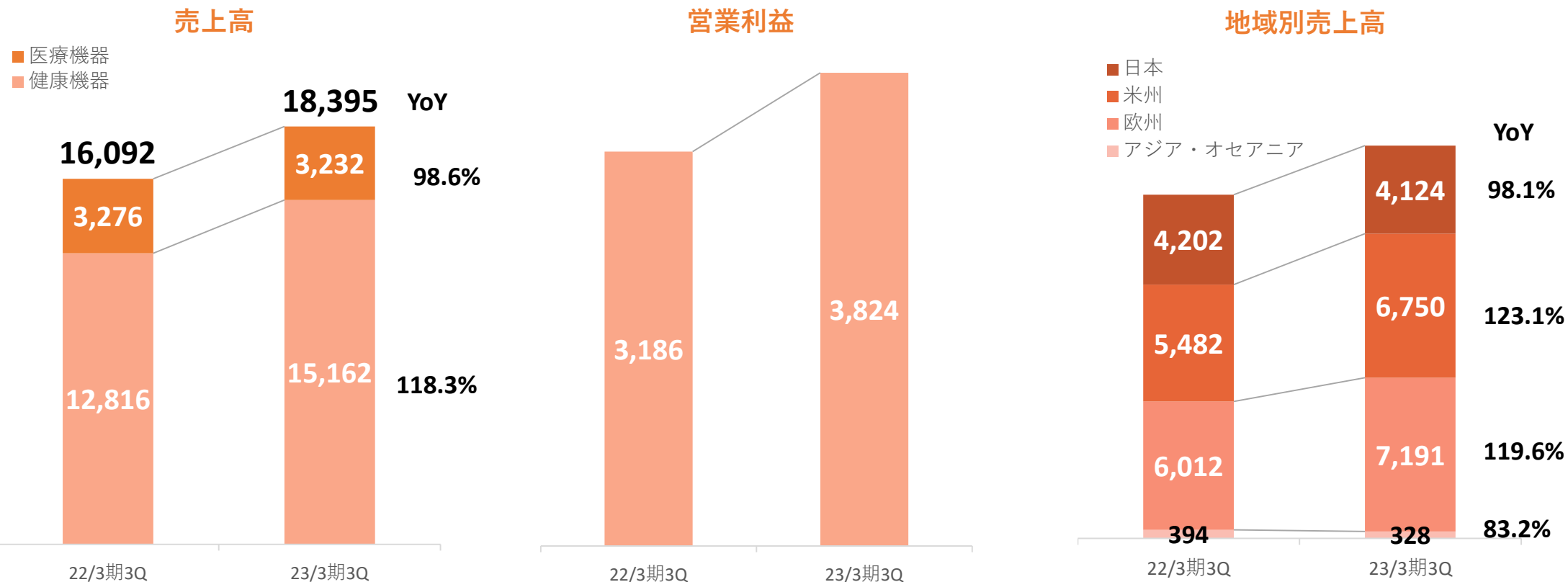
アジア・オセアニア： 豪州・韓国における計量機器やインドにおける金属検出器・ウェイトチェッカの売上が伸長
 なお、利益については、増産対応とともに生産効率化を図ることで大幅増加

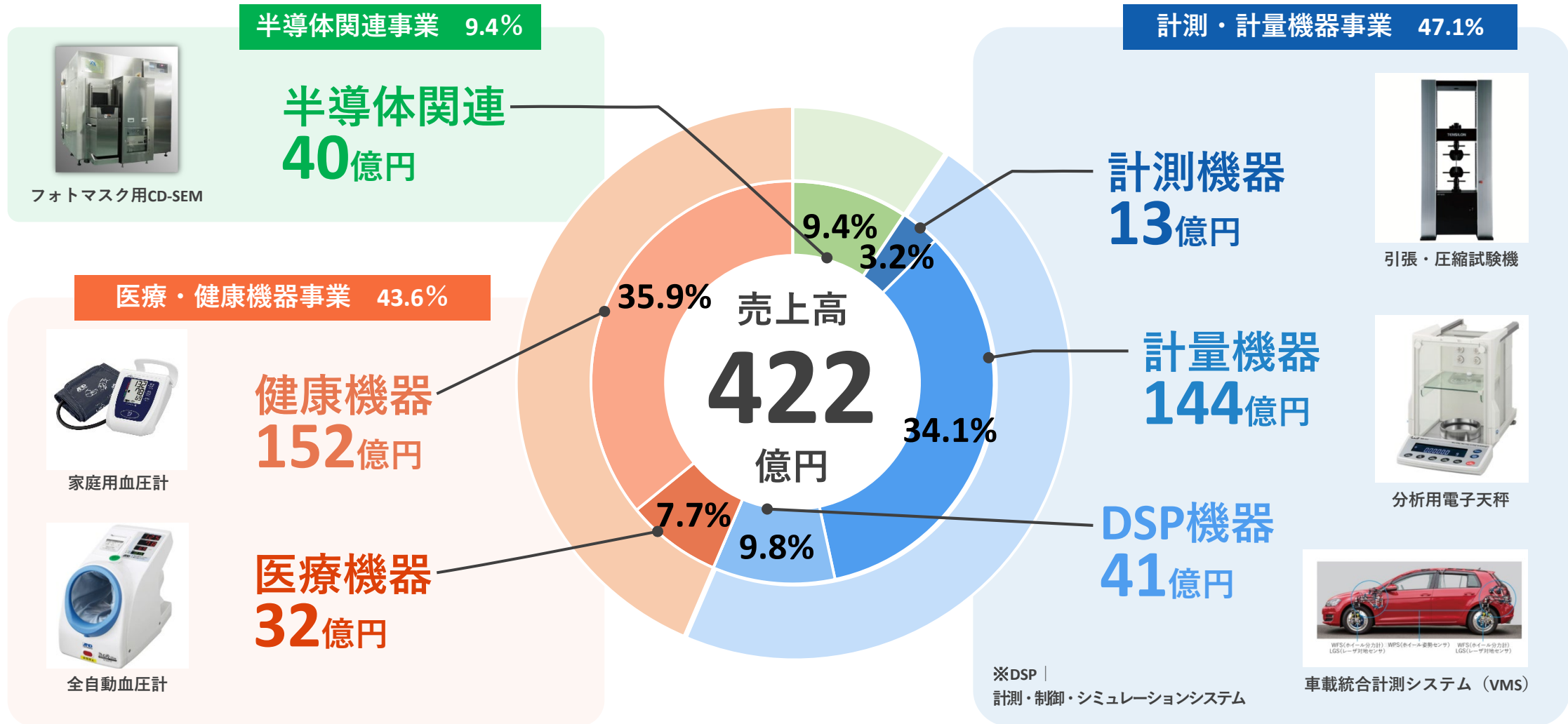


売上高 前年同期比 114.3%、営業利益 前年同期比 120.0% 増収増益

日本： 病院向けの看護用血圧計需要はピークアウトするも家庭用血圧計等の需要は好調に推移、ほぼ前年並みで着地
 米州： 米国における大口案件は堅調推移、カナダでの一般消費者向けの家庭用血圧計の売上は引続き伸長
 欧州： 一部の地域において販売台数の減少が見られるものの円安の影響が大きく円換算後の売上、利益ともに増加

(単位：百万円)





半導体関連事業 9.4%



フォトマスク用CD-SEM

半導体関連
40億円

計測・計量機器事業 47.1%



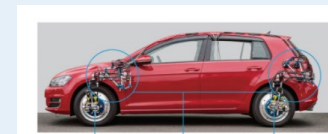
引張・圧縮試験機

計測機器
13億円



分析用電子天秤

計量機器
144億円



WFS(ホイール分力計) WPS(ホイール姿勢センサ) WFS(ホイール分力計)
LGS(レーザー対地センサ) LGS(レーザー対地センサ)

車載統合計測システム (VMS)

DSP機器
41億円

※DSP | 計測・制御・シミュレーションシステム

医療・健康機器事業 43.6%



家庭用血圧計

健康機器
152億円



全自動血圧計

医療機器
32億円

| Contents

1 2023年3月期第3四半期	決算概要	P3
2 2023年3月期第3四半期	セグメント別業績	P9
3 2023年3月期通期業績予想		P14
4 株主還元		P18
5 APPENDIX		P20

世界経済の先行き不透明感の高まりを意識するものの、堅調な受注状況や為替の動向を鑑み、上期決算で上方修正した通期業績予想を据え置く

(単位：百万円)

連結損益	22/3期 A & D通期実績	23/3期 A & DホロンHD 通期実績予想 (22年11月8日公表)	前年同期比 増減額	前年同期比
売上高	51,736	57,500	5,763	111.1%
営業利益	5,496	6,100	603	111.0%
経常利益	5,604	6,222	617	111.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,573	4,092	518	114.5%
1株当たり 当期純利益 (円)	172.92	149.18	▲23.74円	86.3%

想定為替レート：1ドル=130円、1露ルーブル=2.0円で算出

事業別環境

半導体関連事業		半導体需要の急速な高まりを受け半導体装置メーカーの設備投資拡大 当社主要顧客の先端投資は今後増々活況となり旺盛な需要は中期的に継続 ただし、米国による中国向け輸出規制強化などの環境変化には注視が必要
計測・計量 機器事業	計測機器	産業用設備投資の回復に伴い計測機器需要も増加傾向 計量機器は、二次電池製造をはじめとするEV関連投資拡大に伴う生産設備用の計量器需要が増加
	計量機器	
	DSP機器	
医療・健康 機器事業	医療機器	前期のような需要の高まりはいったん落ち着くと見込むものの、医療のデジタル化推進及び医療インフラ整備に伴う中期的な投資拡大により需要は増加傾向
	健康機器	個人での健康意識の高まりおよびデジタル化推進に伴いICT健康機器の需要増加、特に日本及び米州での需要増を見込む ただし、米国でのインフレ懸念による消費者意識の変化には注視が必要

外部環境の変化への対応

- 為替の急激な変動
- 部材調達難、原材料・資源および輸送コストの高止まり



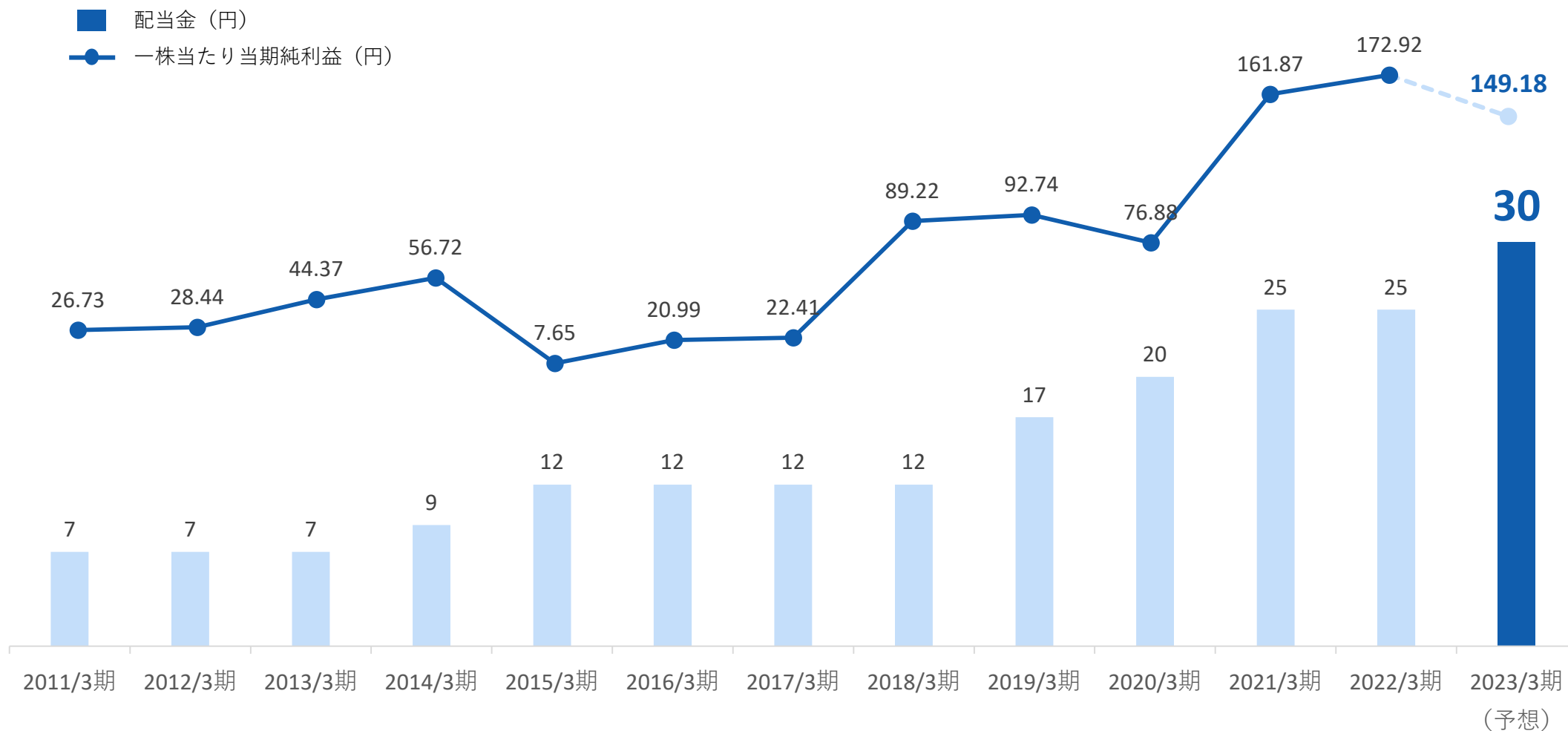
- 徹底した在庫コントロール
- 部材調達の強化や製造・出荷管理の徹底
- 国内生産体制の強化及び最適化
(国内生産子会社3社の合併、日本向け製品の国内生産化推進)

単位：百万円		22/3期 (実績)	23/3期 (予想)	前年同期比 増加額	前年同期比
半導体関連事業		5,082	6,732	1,649	132.5%
計測・計量 機器事業	計測機器	2,655	2,368	▲287	89.2%
	計量機器	17,235	19,076	1,840	110.7%
	DSP機器	5,227	6,171	943	118.0%
	小計	25,119	27,615	2,495	109.9%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,370	4,006	▲364	91.7%
	健康機器	17,164	19,147	1,982	111.5%
	小計	21,534	23,153	1,618	107.5%
売上高合計		51,736	57,500	5,763	111.1%

| Contents

1 2023年3月期第3四半期	決算概要	P3
2 2023年3月期第3四半期	セグメント別業績	P9
3 2023年3月期通期業績予想		P14
4 株主還元		P18
5 APPENDIX		P20

2023年3月期年間配当（予想）は2022年3月期から5円増配の30円



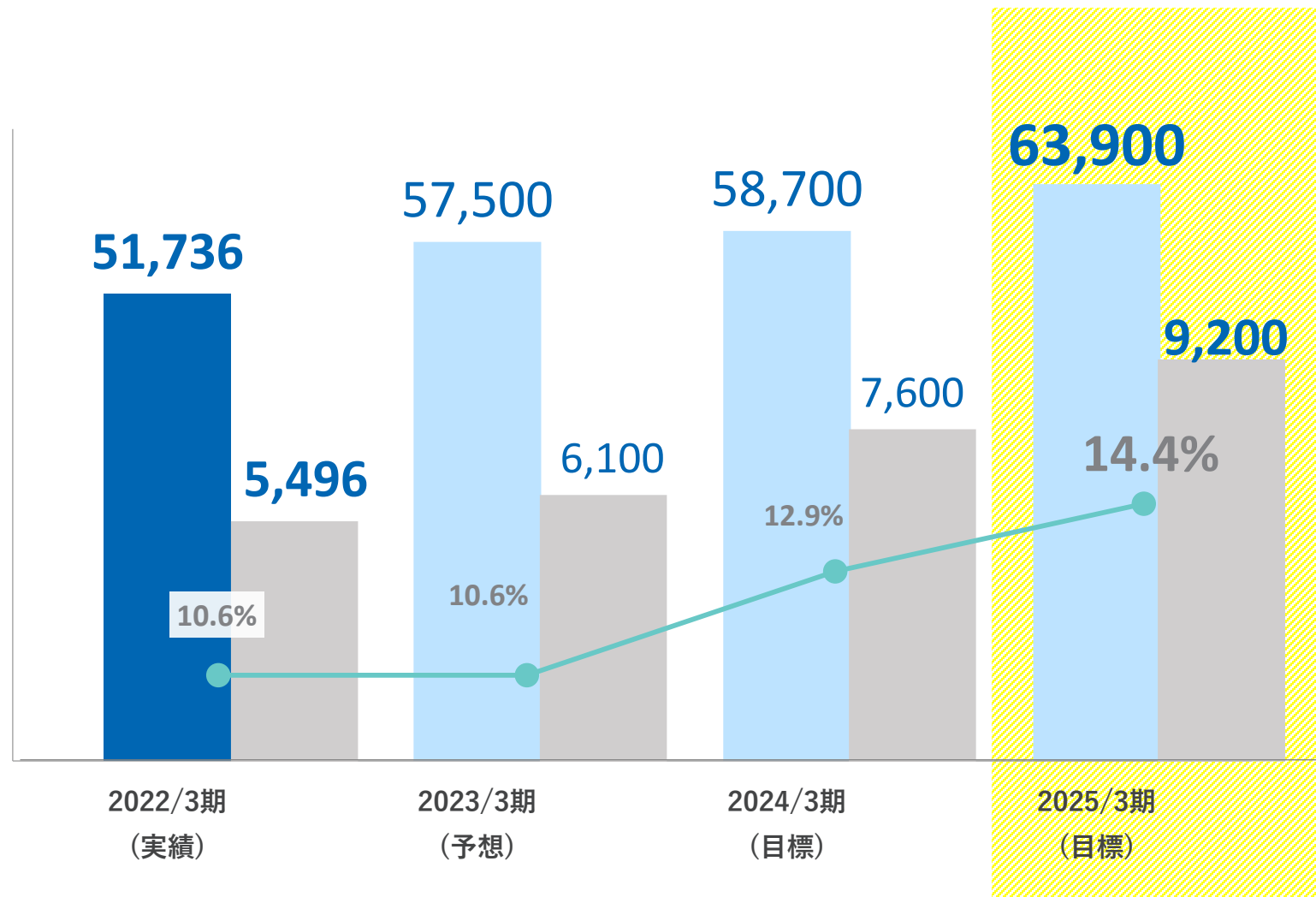
| Contents

1 2023年3月期第3四半期	決算概要	P3
2 2023年3月期第3四半期	セグメント別業績	P9
3 2023年3月期通期業績予想		P14
4 株主還元		P18
5 APPENDIX		P20

(単位：百万円)

	22/3期3Q 累計	23/3期3Q 累計	前年同期比
売上高	37,325	42,217	113.1%
半導体関連	3,455	3,951	114.3%
計測・計量機器	17,776	19,871	111.8%
医療・健康機器	16,092	18,395	114.3%
売上原価	20,984	23,432	111.7%
半導体関連	1,492	1,685	112.9%
計測・計量機器	10,185	11,335	111.3%
医療・健康機器	8,907	9,734	109.3%
販管費	12,771	14,056	110.1%
半導体関連	897	1,011	112.7%
計測・計量機器	6,757	6,953	102.9%
医療・健康機器	3,998	4,835	120.9%
営業利益	3,568	4,729	132.5%
半導体関連	840	1,254	149.2%
計測・計量機器	1,057	1,582	149.6%
医療・健康機器	3,186	3,824	120.0%

(単位：百万円)



2025年3月期

売上高
22/3期比
123.5%

営業利益
22/3期比
167.4%

※詳細については、2022年5月19日開示「[経営統合後の中期経営計画](#)」をご参照ください
 ※2023年3月期の予想数値は22年11月8日公表の業績予想修正数値を反映しております

単位：百万円	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	2024/3期 (目標)	2025/3期 (目標)	対2022/3期 増加額	対2022/3期 増減率	
半導体関連事業	5,082	6,732	7,780	8,960	3,877	+76.3%	
計測・計量 機器事業	計測機器	2,655	2,368	3,540	3,900	1,244	+46.9%
	計量機器	17,235	19,076	19,900	21,570	4,334	+25.1%
	DSP機器	5,227	6,171	7,580	8,260	3,032	+58.0%
	小計	25,119	27,615	31,020	33,730	8,610	+34.3%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,370	4,006	4,410	4,670	299	+6.9%
	健康機器	17,164	19,147	15,490	16,540	▲624	▲3.6%
	小計	21,534	23,153	19,900	21,210	▲324	▲1.5%
売上高合計	51,736	57,500	58,700	63,900	12,163	+23.5%	

AND

HOLON

A&D ホロンホールディングス